

# 2019 年度

## 社会貢献活動報告書

～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～



社会福祉法人ゆきわり会

## 目 次

内 容	ページ
ごあいさつ	1
(1) 活動の基本理念・基本方針	2
(2) 各事業所等の活動結果	3
参考資料1…「社会福祉法人の社会貢献活動」とは	4
参考資料2…社会貢献活動フロー図	5
結び	6
各事業所等の活動報告	
・ SHINJO 社会貢献活動報告	7
・ ゆきわり荘 社会貢献活動報告	8
・ くりいむ 社会貢献活動報告	9
・ はやて 社会貢献活動報告	10
・ ねぶた 社会貢献活動報告	11
・ はやぶさ 社会貢献活動報告	12
・ ぎんざ 社会貢献活動報告	13
・ しんあおもり 社会貢献活動報告	14
・ 研修委員会 社会貢献活動報告	15
・ 学生支援 社会貢献活動報告	16

～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～



## ～ごあいさつ～

平成28年3月31日改正社会福祉法より、「地域における公益的な取組」について責務規定が創設され、当法人も平成29年度より「社会福祉法人ゆきわり会社会貢献活動計画書～たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛～」を策定し、事業所ごとに社会貢献に取り組んでおります。

この改正法の目的とするところの「公益性や非営利性の徹底」「国民に対する説明責任」「地域社会に貢献する法人のあり方の徹底」の3つの主な目的について職員への周知を図りました。法施行から3年目ということもあり、主に青森市西部地区の新城地区と石江地区に、法人内各事業所等で役割分担をし、地区社協等の関係者の皆様のご協力を仰ぎながら社会貢献に努めております。

各事業所等の取組につきましては、後ほどご紹介させていただきます。

従来までも「地域交流」として夏祭りや地域奉仕活動としての清掃活動等、利用者・家族・役職員が一丸となってその役割を担って参りました。

その役割が功を奏し、障害の重い方々が地域の一員となって溶け込み、暮らせることができていることが一つの証かと存じます。

これからも社会福祉法人として期待される役割を果たすよう努め、その趣旨にしっかりと取り組んで参ります。なお、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

社会福祉法人ゆきわり会

理事長 関 良

## (1) 活動の基本理念・基本方針

社会福祉法人による社会貢献活動は、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応することを社会福祉法人の本旨として、支援が必要な者の早期把握と具体的な解決を図ることを目的に実施するものです。

社会福祉法人ゆきわり会の社会貢献活動の「基本理念」「基本方針」は以下を掲げ役職員が一丸となって取り組んで参ります。

### 【基本理念】

- ・たすけ愛
- ・ささえ愛
- ・ちいき愛

### 【基本方針】

1. 社会福祉法人の本旨として、活動は「ゆきわり会」が主体的におこないます。
2. 制度や財源がない場合においても、支援を必要とする人のために活動を創造し、課題解決を図っていきます。
3. 「ゆきわり会」が培ってきた資源や専門性、ネットワークを活用し、対応が困難な課題を解決することを通じて、地域づくりを進めていきます。
4. 年齢や障害の有無等にかかわりなく安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指し、地域の方々及び家族、職員と共に障害福祉に関わる普及啓発活動に努めます。
5. これらの活動は、「ゆきわり会」が支えていきます。

## (2) 各事業所等の活動結果

2019年度は前年度の活動を踏まえ、地域の方々等へ「社会貢献活動」の制度の普及啓発をしながら、下記のとおり取り組んで参りました。  
詳細につきましては、後ほどご紹介いたします。

No.	活動	内容	主担当
①	総合相談 (トータルサポート)	制度の狭間や生活困窮などの様々な課題を抱える者に対し、各関係機関や住民（新城地区・石江地区）と連携し、既存の制度や機関に適切に繋ぎ、総合的な相談支援を行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO (児童以外) ・相談支援事業所ぎんざ
②	経済的援助 (ライフサポート)	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、経済的援助を低額な料金設定を行います。また、「奨学金返還貸与制度」や「奨学金返還支援金貸与制度」として、奨学金についても法人独自の制度により援助いたします。	・法人本部
③	食料等の提供 (フードサポート)	新城地区社協・石江地区社協と協同で両地区在住の高齢者の集う機会に、定期的に(年2回程度)に弁当を提供し、地域の高齢者の親睦を図る機会を提供します。	(新城地区) ・ゆきわり荘 (石江地区) ・はやぶさ
④	地域奉仕活動 (コミュニティーサポート)	既存の制度やサービスでは対応できない新たな課題に対し、「ゆきわり会」が有する資源を活用し、必要な支援を行います。また、地域に密着した地域奉仕活動(ゴミ拾い・除雪等)を積極的に行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO (児童以外) ・ゆきわり荘 くりいむ、はやて、ねぶた、しんあおもり
⑤	保育・教育・障害普及啓発活動	障害福祉に関わる研修会を開催し、地域の方々と家族、職員が共に学び専門知識と支援技法を習得します。また、地区市民センターに保育教諭を派遣し、ふれあい遊びや読み聞かせを行います。	(児童) ・認定こども園SHINJO (児童以外) ・ゆきわり会研修委員会

## 「社会福祉法人の社会貢献活動」とは

### 《求められる背景》

#### ◆ 新しいニーズである「制度の狭間」の問題

これまでの社会福祉制度は、子ども・障害者・高齢者といった対象者に合わせ分野ごとに整備され発展してきました。一方で、少子高齢化や人口減少、家族形態の変容、さらには地域における人間関係の希薄化・孤立化・生活保護世帯や非正規雇用者の増加などによる生活の不安定化などを背景として、深刻なニーズが生じています。

これらの顕在化している課題は、既存の制度が変容・成熟が進んできた一方で、ニーズの多様化や複雑化を伴って「制度の狭間」の問題として浮彫になっています。

#### ◆ 社会福祉法人の本旨と役割

社会福祉法人は、昭和26年福祉事業を担う法人として社会福祉事業法の制定とともに誕生し、旧民法に規定する公益法人の特別法人として制度化されました。

全国に約2万か所ある社会福祉法人は、我が国の社会福祉事業を中心的に支え、制度の狭間のニーズや生活課題に対して具体的な取組を行ってきたことも社会福祉法人の歴史でもあります。

社会福祉制度が公的な補助や助成を伴って充実し、社会福祉法人が社会福祉事業以外の制度外の取り組みを行うことに制約がある中においても、それぞれの地域の課題に積極的に向き合って地道に実践を継続してきました。

社会福祉法人の先達は、目前で支援を必要としている人に温かい手を差し出し、その「制度の狭間」の課題を解決する実践に汗を流してきました。こうした地道な取組や手法がそれぞれの地域で広がり、やがて制度化されてきたことが、我が国の社会福祉の歩みとなっていました。

社会福祉法人が、既存の制度では対応が困難なニーズや現代社会の中で深刻化している生活課題の解決に向けて積極的に取り組むことは、社会福祉法人が原点回帰することであり、「制度の狭間」の課題に果敢に取り組むことは、社会福祉法人の本旨であります。

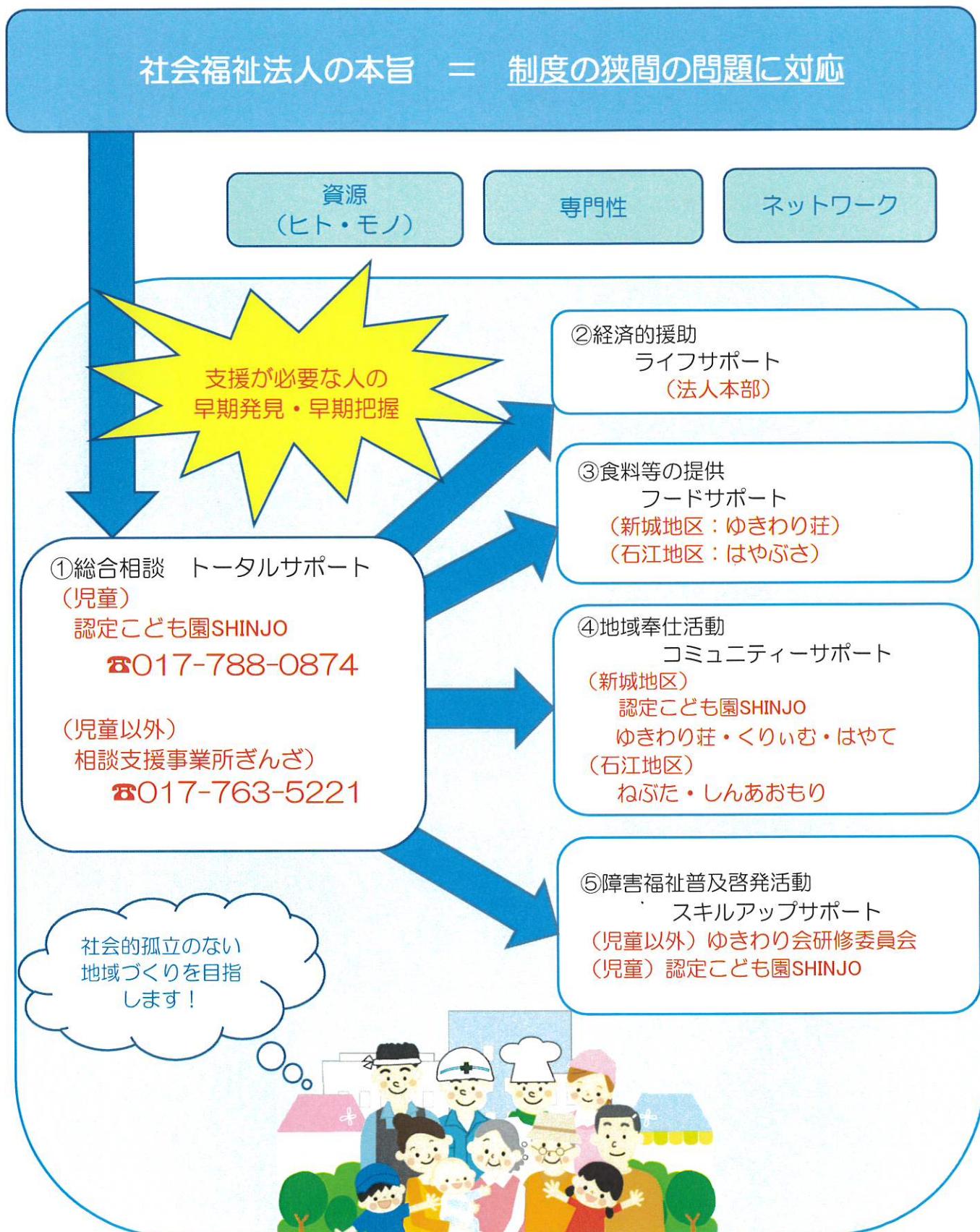
社会福祉法人が、その本来的な役割に長年取り組んできた一方で、改正社会福祉法では「地域における公益的取り組みを実施する責務」を規定化しました。福祉サービスの供給主体が株式会社やNPOなど多様となった現在、社会福祉法人には、積極的かつ可視的に社会に貢献することが求められます。

#### ◆ 地域の課題を解決する

「社会福祉法人ゆきわり会」が、地域の関わりの中で、これまで培ってきた信頼とネットワークを活かし、また地域に根ざした教育・保育サービス及び障害福祉サービスの専門性を活かし、地域の課題解決に向け貢献活動として取り組んで参ります。

## 社会貢献活動フロー図

当法人の活動フロー図については、以下のとおりです。「総合相談トータルサポート」を窓口としますが、隨時、柔軟に対応して参ります。



## ～ 結 び ～

私たち「社会福祉法人ゆきわり会」の役職員一同は、社会貢献活動の「基本理念」として「たすけ愛・ささえ愛・ちいき愛」を掲げ、五つの「基本方針」に基づき、地域の課題に柔軟かつ迅速に対応できるよう、また地域の皆様及び関係者の皆様のご期待に添えるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻りの程、よろしくお願ひ申し上げます。

令和2年3月

社会福祉法人ゆきわり会  
役職員一同

# 各事業所等の活動報告



社会福祉法人ゆきわり会

## 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	認定こども園SHINJO		リーダー名	土岐美穂
所属職員名	竹内玲子		富樫 凜	岩崎千恵子

【活動目的】・地域にいる未就園児と保護者を対象に子ども同士、大人同士（父・母等保護者）の交流の場及び、保育教諭と子育て相談の場となる。また、保護者の急用や、リフレッシュでの一時預かり利用が出来る事への周知に繋がって行く。地域の公共の場を利用したり、施設との交流を通し子どもたち及び、職員が、地域の一員であることを自覚する場となる。

【展開方法・実施内容】		【画像】
● こどもえんであそぼう	ホームページや地域の回覧板、西部市民センターに活動予定日のチラシを配布したり掲示し活動している。季節ごとにあった遊び（リズム遊び・製作活動・身長体重測定等）を行う。参加した保護者に子育てをして日々感じている事など会話の中で聞き、相談の場合はアドバイスをしていく。	
● 西部市民センターへの保育教諭派遣	月に一度の西部市民センターでの「おやこであそぼう」へ参加し、園で行っている触れ合い遊びや製作、読み聞かせをおこなう。	

### 【活動時間】

	午前					午後				
10:00	こどもえんであそぼう		:							
10:50	おやこであそぼう		:							
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
子ども園であそぼう	20	18	15	20	17	21	19		21	18
おやこであそぼう	17	24	19	16	28	24	23	22	17	22

今年度の評価	こども園であそぼうでは、毎回季節に関した製作や遊びを取り入れ、作った物を持ち帰る事で喜んでもらえた。また、新しい園舎という事もあり参加するご家族も多くその後入園希望する方もいた。おやこであそぼうでは保育教諭が、普段の保育活動で行っていることを披露していったが、参加したご家族も楽しんでくれ、こども園であそぼうにも参加するしてもらえた。	課題・反省点等	こども園であそぼうを地域の方に知つもらうために、回覧板やおやこであそぼうでお知らせを配布しているが、今回は園舎も新しいということで、興味を持ってくれた方が多かったと思う。今後も新しい園舎に見学を兼ねて参加してもらえるように、ホームページ等で伝えていきたい。

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	ゆきわり荘	リーダー名	山内愛子
所属職員名	本谷 謙	澤田千秋	坂井 亮

## 【活動目的】

社会福祉法人ゆきわり会で、これまで培ってきた信頼感とネットワークを活用し社会的孤立のない地域づくりを目指します。年齢や障害の有無等にかかわりなく安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指し、専門性を活かした地域の課題解決に向け貢献活動として取り組んで参ります。

【展開方法・実施内容】	【画像】
<p>○ ねぶた囃子練習場所提供的 (平岡町会ねぶた実行委員会 青森市西部まちねぶた愛好会)</p> <p>場所 ゆきわり荘キャノピー下のスペースを使用する</p> <p>期間 練習期間は5月下旬から7月下旬まで(日・木の週2回)</p> <p>時間 18:00-19:30</p> <p>参加者 地域の子供たち・小学生・中学生・保護者等・ゆきわり荘利用者</p>	
<p>○ 緑ヶ丘町会内の歩道の除雪</p> <p>場所 緑ヶ丘町会通学路</p> <p>期間 12月から2月</p> <p>時間 10:00-14:30</p> <p>除雪機にて歩道を確保</p>	
<p>○ 一人暮らし高齢者への食事提供 (フードサポート)</p> <p>場所 西部市民センター2階 調理室 会議室</p> <p>期間 1月(第2火曜日)・2月(第2火曜日)(年2回)</p> <p>時間 10:00~13:30 昼食11:45~</p> <p>新城地区社会福祉協議会と協同で新城地区にお住いの一人暮らし高齢者(梓の会会員様)への食事提供を実施します。</p>	

## 【活動時間】

午前				午後								
10:00	緑ヶ丘町会歩道の除雪			18:00 ねぶた囃子練習								
12:00	一人暮らし高齢者への食事提供			:								
内容/活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
歩道の除雪									○	○	○	○
食事提供										○	○	
ねぶた囃子練習		○	○	○								

今年度の評価	<p>ねぶた囃子練習や歩道の除雪については、特に問題等無く予定通り出来ました。また、新城地区にお住まいの一人暮らしの高齢者のみなさまへの食事提供については、利用者の皆様と職員と協力して、献立を考え、手作りで食事を作り提供することが出来ました。足元が悪い中、多くの高齢者の方に足を運んでいただきました。食後のアンケートでは(栄養バランスを考えた献立で、手作りして頂き、とても美味しいいただきました。来年もよろしくお願ひします。)と感謝の声が多く聞かれた。</p>	課題・反省点等	<p>ねぶた囃子練習や歩道の除雪については、特に問題等無く予定通り出来ました。一人暮らし高齢者への食事提供については、調理に時間がかかり、食事開始時間が遅れ、参加者を待たせてしまい、ご迷惑をおかけしましたので、今年度の反省点を踏まえ、令和2年度に取り組みます。</p>

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	くりいむ		リーダー名	吉田 透
所属職員名	北山彩姫		竹内富志	各班リーダー

## 【活動目的】

地域の独居高齢者等のリサイクル回収等により、安否確認を行い、安心・安全に暮らせるよう見守ります。また、班活動の散策にて、地域の歩道や公園等のゴミ拾いを行い、地域の環境美化に努めます。地域のイベントにも積極的に参加し、イベント成功に貢献します。

【展開方法・実施内容】	【画像】
1 ワークマン班…独居高齢者等のリサイクル回収（空き缶等） ①対象者のリストアップ ②地域への周知（回覧板等） ③回収日時の設定	
2 各班活動…地域散策時に、歩道及び公園等のゴミ拾い ①各班の日課活動にて実施 ※冬季除く。	
3 地域のイベント参加（担当：北山彩姫、竹内富志） ①かかしロード280への参加（かかし作り） ②青森市西部市民センター 雪をたのしむ集い（雪像作り） ③その他、随時参加	

## 【活動時間】

	午前				午後							
9:45	リサイクル回収又はゴミ拾い等				13:30	リサイクル回収又はゴミ拾い等						
10:45					:							
未定	イベント参加は随時				:							
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空き缶回収	毎月1回程度											
ゴミ拾い	各班の活動内にて実施					—	—	—	—	—		
イベント参加	随時		かかし製作	かかし展示	随時			雪像づくり	—			
今年度の評価	• 初めてかかしロード280に参加し、地域の方と一緒にかかしを作り、楽しむ事が出来た。 利用者の方も初めてかかしを作る為、最初は何が出来るのかわからないようだったが、地域に飾ってあるかかしを見て自分が作った作品だと喜んでいた。				課題 ・反省点等	• 独居高齢者等のリストアップは個人情報の関係もあり難しい為、保護者等から依頼があった際に、缶回収を行う事にする。 • 暖冬で雪が積もらず、2月に行われる予定であった雪を楽しむ集いが中止となり、雪像作りを行う事が出来なかった。						

## 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	はやて		リーダー名	櫛引 由美																																																																																			
所属職員名	小林 寿江		—	—																																																																																			
<p><b>【活動目的】</b></p> <p>地域に住む高齢者的心の拠り所となり、高齢者同士の交流の場や、楽しみの場を提供します。</p>																																																																																							
<p><b>【展開方法・実施内容】</b></p> <p><b>【活動内容】</b> こころの縁側づくり事業 GHの場所の提供（食堂・リビング）</p> <p><b>【活動地域】</b> 新城地区</p> <p><b>【活動の対象者】</b> 地域に住む高齢者</p> <p><b>【活動の時期】</b> 4月～12月</p> <p><b>【活動時間】</b> 9：00～16：00</p>			<p><b>【画像】</b></p> <p style="background-color: #ffffcc; text-align: center; padding: 10px;">今年度は活動を実施する事が出来ませんでしたので、写真添付はありませんでしたので、写真を撮りません。</p>																																																																																				
<p><b>【活動時間】</b> 9：00～16：00</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">午前</th> <th colspan="3">午後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>:</td> <td colspan="3"></td> <td>:</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td colspan="3"></td> <td>:</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td colspan="3"></td> <td>:</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>内容／活動月</td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>場の提供</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>						午前			午後			:				:				:				:				:				:				内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	場の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○																													
	午前			午後																																																																																			
:				:																																																																																			
:				:																																																																																			
:				:																																																																																			
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																											
場の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																														
今年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>• こころの縁側づくり事業として、青森市高齢者支援課、社会福祉協議会に登録されているが、問い合わせがなかった為、実施されていない。</li> </ul>			課題 ・反省点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• こころの縁側事業として、GHを活動の場として提供する登録されているものの、問い合わせがなかった為、来年度は問い合わせがあるか動向をみていきたい。</li> </ul>																																																																																		

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	ねぶた		リーダー名	天内恵美								
所属職員名	中山 穩		関 恵	一								
【活動目的】												
ゴミ拾いを通して地域の環境衛生と住民との交流を図っていく。												
【展開方法・実施内容】			【画像】									
<p>【活動内容】 事業所周辺のゴミ拾い</p> <p>【活動地域】 石江地区</p> <p>【活動時期】 年4回（5月、6月、9月、10月） 月1回</p> <p>【活動実施者】 ねぶた職員</p>			 									
【活動時間】 10時 00分 ~ 11時 00分												
午前			午後									
9:30	ゴミ拾い開始		:									
10:30	ゴミ拾い終了		:									
:			:									
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ゴミ拾い		○	○			○	○					
今年度の評価	計画通り4回、利用者と共にゴミ拾いを行なうことが出来た。ゴミ拾いの際も事故 ・怪我無く終えることが出来た。 毎回利用者10名程度、職員は5名程度で参加した。			課題 ・ 反省 点等	今後はゴミを拾う範囲を増やしていく、コースを変えながら楽しくゴミ拾いが行えるようにしていきたい。							

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	ぎんざ		リーダー名	橋 和彦
所属職員名	木村 直人		加賀谷 美有	—

## 【活動目的】

地域に居住する70歳以上の高齢者（主に一人暮らし）を対象とし、地域での暮らしが安全・安心で且つ、健康に暮らすことができるよう手助できる活動となることを目的とする。

【展開方法・実施内容】	【画像】
<p>【活動内容】</p> <p>石江地区の社会福祉協議会で実施している、70歳以上の一人暮らしの高齢者を対象とした「福の会」の活動に参加可能な月を選んでいただき、その活動日に弁当を無料配布しながら、健全生活の労をねぎらう。</p>	
<p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員 【活動場所】青森市民センター 石江分館 【活動の対象者】70歳以上の一人暮らしの高齢者 【活動時期】年1回（9月9日予定） 【その他】石江地区社会福祉協議会の協力も得る</p>	

## 【活動時間】

	午前					午後						
10:30	会場準備					11:45	会食開始					
11:00	弁当・お茶等の準備と配布					12:30	参加者見送り					
:						12:40	会場片付け・ゴミ等の回収					
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動見学			17日									
弁当無料配布						9日						

今年度の評価	当初の予定通り、はやぶさ・しんあおもりの計画に協力する形で参加することが出来ている。 6月に見学、9月に活動参加を行い、当日は理事長の飛び入り参加などもあり、高齢者の方と深耕を図ることも出来ている。今後もできる範囲で、協力参加が出来るよう努めていきたい。	課題・反省点等	当初は11:00の会場準備から参加する予定であったが、会長さんが早めに会場に入り準備をしていたため、十分な手伝いとはならなかった。次回は早めの参加協力ができるよう計画したい。

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	はやぶさ	リーダー名	橋 和彦
所属職員名	西巻 悟志	新山 有紀	宮川 康之 山本ひとみ

## 【活動目的】

地域に居住する70歳以上の高齢者（主に一人暮らし）を対象とし、地域での暮らしが安全・安心で且つ、健康に暮らすことができるよう手助できる活動となることを目的とする。

【展開方法・実施内容】	【画像】
<p>【活動内容】 石江地区の社会福祉協議会で実施している、70歳以上の人一人暮らしの高齢者を対象とした「福の会」の活動に参加可能な月を選んでいただき、その活動日に弁当を無料配布しながら、健全生活の労をねぎらう。</p> <p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員</p> <p>【活動場所】青森市民センター 石江分館</p> <p>【活動の対象者】70歳以上の一人暮らしの高齢者</p> <p>【活動時期】年1回 （9月9日予定）</p> <p>【その他】 石江地区社会福祉協議会の協力も得る</p>	 

## 【活動時間】

	午前					午後						
10:30	会場準備					11:45	会食開始					
11:00	弁当・お茶等の準備と配布					12:30	参加者見送り					
:						12:40	会場片付け・ゴミ等の回収					
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動見学			17日									
弁当無料配布						9日						

今年度の評価	当初の予定通り、6月に見学参加及び9月に活動参加を行なうことが出来ている。また、当日は法人から理事長も飛び入り参加をしており、地域の一人暮らしの高齢者さんと親交を図ることが出来ている。終了時には参加された皆様や地区福祉協議会の方から、弁当はおいしかったし来年もお願いしますとの言葉もいただき成果はあった。	課題・反省点等	最初は11:00から会場準備をすることを打ち合わせていたが、当日、会長さんが早めに会場に入り、準備を進めていたので少し遅れる形となった。次回は、早めの会場入りを計画し、準備の手伝いも早く行えるよう計画したい。

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名	しんあおもり	リーダー名	関 良
所属職員名	江良 優希	—	—

## 【活動目的】

地域に居住する70歳以上の高齢者（主に一人暮らし）を対象とし、地域での暮らしが安全・安心で且つ、健康に暮らすことができるよう手助できる活動となることを目的とする。

【展開方法・実施内容】	【画像】
<p>【活動内容】 石江地区の社会福祉協議会で実施している、70歳以上の一人暮らしの高齢者を対象とした「福の会」の活動に参加可能な月を選んでいただき、その活動日に弁当を無料配布しながら、健全生活の労をねぎらう。</p> <p>【活動実施者】 はやぶさ・しんあおもり・ぎんざ職員</p> <p>【活動場所】青森市民センター 石江分館</p> <p>【活動の対象者】70歳以上の一人暮らしの高齢者</p> <p>【活動時期】年1回 （9月9日予定）</p> <p>【その他】石江地区社会福祉協議会の協力も得る</p>	 

## 【活動時間】

午前				午後								
10:30	会場準備			11:45 会食開始								
11:00	弁当・お茶等の準備と配布			12:30 参加者見送り								
:				12:40 会場片付け・ごみ等の回収								
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動見学			17日									
弁当無料配布						9日						

今年度の評価	当初の予定通り、6月に見学参加及び9月に活動参加を行うことができている。 終了時には参加された皆様や地区福祉協議会の方から弁当はおいしかった。来年もよろしくお願いしますとのお言葉をいただき成果は有った。	課題・反省点等	最初は11:00～会場準備をすることを打合せしていたが、当日会長さんが早めに会場入りし準備を進めていたので少し遅れる形となった。次回は早めに会場入りを計画し、準備の手伝いも行える様に計画したい。

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	法人本部	リーダー名	研修委員会（丸本委員長）									
所属職員名	法人本部及び各事業所の研修委員（当番事業所：くりいむ）											
【活動目的】												
発達障害、知的障害、精神障害等について、全職員の知識向上を図るとともに、障害者と暮らしている保護者の話（思い・願い）を聴いて「寄り添う支援」の意識啓発を推進する。												
【展開方法・実施内容】		【画像】										
<p>参加者：利用者、保護者、地域の方、地域の施設職員等 ゆきわり会職員（生活支援員・世話人・看護職員・保育教諭等） 会 場：ゆきわり荘食堂 内 容：1. 「障害特性(発達障害・知的障害)の理解」 テーマ：～寄り添う支援～ ●講師：青森県自閉症支援研究会 代表 前中貴次氏 2. 意見交換 ●コーディネーター：明の星短大前学科長 丸本富勝氏</p> 		 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前中貴次氏</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">丸本富勝氏</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">受講風景</div>										
【開催時間】												
午前		午後										
8:30～	会場準備（音響・椅子配置）	18:30	会場準備（音響・椅子配置）									
9:25～	日程説明・事務連絡等	18:55	日程説明・事務連絡等									
9:30～	研修会開始（講演・意見交換）	19:00	研修会開始（講演・意見交換）									
～10:50	終了、後片付け	～20:20	終了、後片付け									
～11:00	退勤	～20:30	退勤									
		:										
内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会	—	—	—	—	—	—	開催	—	—	—	—	—
今年度の評価	当初計画していた障害者と同居する発表者について、発表者が見つからず苦慮したが、講師からの提案で、研修用のDVDを放映し、代替とすることができた。内容については、参加者からも分かりやすいと好評であった。また、例年行われているため、地域住民等を交えた研修会も定着しつつあると感じた。					課題・反省点等	反省点としては、計画段階である程度の発表者や講師については、内諾を取っておいた方がスムーズと感じた。（特に、法人職員以外の参加がある場合）その他は、研修アンケートを参考に、地域住民等に障害福祉についての普及啓発のため、次年度以降も計画していきたいと思う。					

# 2019年度 社会貢献活動報告書

事業所名等	法人本部	リーダー名	経営人事・総務部長 有馬 伸之
所属職員名	総務課長 蒔苗 隆次	総務課長 古谷 宏幸	—

## 【活動目的】

「①社会福祉法人ゆきわり会奨学金貸与規程」及び「②社会福祉法人ゆきわり会奨学金返還支援金貸与規程」に基づき、福祉就労を目指す学生等に対して入学金及び授業料について、後方支援をし、福祉専門職とマンパワーの確保、県外への人口流出防止及び職場定着に努めることを目的とする。

## 【展開方法・実施内容】

## 【リーフレット画像】

### ①奨学金貸与（無利息）

- 対象者：入学決定者又は在学者
- 対象資格：社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士  
又は保育士及び幼稚園教諭二種
- 学校等への周知：上記対象資格取得が可能な大学、短期大学及び専門学校等を訪問し、リクルートガイド及び法人ホームページ等により学生等への周知と利用促進を図る。（県内学校等）
- 申請・契約：随時受付し、申請手続き及び契約書の締結を行う。



### ②奨学金返還支援金貸与（無利息）

- 対象者：在学者
- 対象資格：社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士  
又は保育士及び幼稚園教諭二種
- 学校等への周知：上記対象資格取得が可能な大学、短期大学及び専門学校等を訪問し、リクルートガイド及び法人ホームページ等により学生等への周知と利用促進を図る。（県内学校等）
- 申請・契約：随時受付、申請手続き及び契約書の締結を行う。



## 【活動時期・時間等】

午前

午後

※ 随時受付及び学校等の訪問を実施。

内容／活動月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校等の周知												学校等訪問等
その他の周知												ホームページ掲載等
受付												随時
申請手続き												随時
契約締結												随時
貸与												随時
今年度の評価	申請用紙等の書類整備と、パンフレットの作成をした。周知については、ホームページへの掲載、県内の専門学校・短期大学・大学へ配布し、周知を図った。						課題・反省点等	年度末より、新型コロナウィルスにより、外出の自粛が全国的に行われ、主に学生や学校へのPRがなかなかできなかった。学校等への訪問したPRは、当分の間、困難と思われるため、引き続き、ホームページ等のネット環境を駆使したPRに努めたいと思う。				

